【GIGA×指導の工夫・改善】学習の見通しをもたせ、児童が自ら学びを進めるための手立て

く考察>

児童に学習の見通しをもたせ、児童が自ら学びを進めるために「調べ学習のガイド(手順)を示し、その流れに沿って、調べ学習を進める。」、「単元を通して身に付けさせたい技能をすべて示し、できたものに児童自身でチェックを入れることができるようにする。」、「単元やその時間の課題解決のためのヒントスライドを作成し、提示する。」といった手立てを実践した。同様の手立てを各学年の実態、教科の特性に応じて行った。

それにより児童は、自分がどのように学習を 進めればよいかが明確になり、手順等を理解 しながら、主体的に学習を進めることができた。 例えば体育では、身に付けるべき技能を 一覧表で確認しながら自分の成長を実感 でき、自己評価の力も養われた。算数の ヒントスライドは、自分のペースで課題に取り 組む手助けとなり、つまずいた時に自ら解決 しようとすることができた。

教師は、個別指導に時間を割きやすくなり、 児童が迷う時間が減ることで、質問対応の 負担が減ったり、個々の学習状況が把握 しやすくなったりするなど、一人ひとりに応じた 指導を充実させることができた。

結果として、児童が主体的に学ぶ力を高めるとともに、教師の指導の質も高めることができた。

